

第4回「大気—海洋相互作用研究会」開催のお知らせ

第4回の「大気—海洋相互作用研究会」を、1992年度日本気象学会秋季大会の前日（10月6日（火））に下記の要領で開催いたします。ふるってご参加下さい。

記

1. 日時：1992年10月6日（火）、13：30～17：15
2. 場所：北海道大学低温科学研究所講義室
3. テーマ：「高緯度域での空と海と氷の相互作用」
コンビナー：竹内 謙介（北大低温研）
4. プログラム：
 - 座長 安成 哲三（筑波大・地球科学）
 - ① 13：30～14：10 南極海における大気—海水相互作用
榎本 浩之（北見工大）
 - ② 14：10～14：50 大陸氷床の変動と氷期の十万年サイクル
井上 良紀（北大・工）

休憩

- 座長 竹内 謙介（北大・低温研）
 - ③ 15：30～16：10 海水モデルの概要とそのオーホック海への適用
篠原 吉雄（函館海洋気象台）
 - ④ 16：10～16：50 北極海の海洋・大気研究（日本の現況と展望）
小野 延雄（極地研）
滝沢 隆俊（海洋科学技術センター）
 - ⑤ 16：50～17：15 南極海水域での気象・海洋観測の現状と展望
大島慶一郎（北大・低温研）
- 研究会事務局 藤谷徳之助・中沢 哲夫（気象研究所）

—国際シンポジウム—オホーツク海&流氷／国際宇宙年・極域氷圏—

開催のお知らせ

- 主催**：オホーツク海・氷海研究グループ、宇宙開発事業団、欧州宇宙機関、紋別市、(株)北方圏センター
- 後援**：日本国際宇宙年協議会、(財)リモートセンシング技術センター、日本海洋学会、海洋気象学会、日本雪氷学会、日本気象学会
- 期間**：1993年1月31日（日）～2月5日（金）
- 場所**：紋別市民会館、紋別市文化会館
- 主旨**：世界各国から海洋、気象、水産、生物、工学、リモートセンシングなどの学際的分野の研究者、技術者を集めてオホーツク海や氷海寒冷海域での諸問題について論議するものです。
- 主題**：1) オホーツク海・流氷
・氷海の海洋と気象

- ・氷海の水産と生物
- ・氷海の工学的問題
- ・流氷の物性とダイナミックス
- 2) 極域氷圏ワークショップ
- ・雪氷、氷海に関するリモートセンシング技術の応用
- 3) 特別セッション
- ・日本・カナダ共同研究（サロマ湖・レゾリュート）

参加申込・問い合わせ：

〒094：オホーツク海・氷海研究グループ事務局
紋別市幸町2丁目紋別市役所企画調整課
Tel：01582-4-2111 内線：344
FAX：01582-3-1833